

コース 35 信濃黒姫山

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成27年 9月 19日(土) 天候 晴れ

参加者 23 (男性 5 女性 18) グレード C上

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		4:55	北陸道では雨、妙高方面は晴れ間あり
種池入口・登山口	7:50	8:00	25分で古池到着、広い湖面に黒姫山が映える
四叉路・西登山道分岐	9:55	10:05	丸太2本の小沢を無事通過
稜線上のガレ場	11:45	11:50	緩い長い傾斜、見事なシナの木で写真
黒姫山山頂	12:40	13:30	山頂直下の岩場を越えて山頂。昼食
峰の大池	14:15	14:30	新道分岐からゴロ岩の連続の下りで手こずる
黒姫乗越	15:15	15:25	七ツ池と草原を越えて苔むす樹林帯へ
越見尾根	15:50	15:55	山頂に直接つながる越見尾根は一転して急下降
望湖台	16:40	16:50	尾根から鋭角に右折すると笹の残る横のへつり
黒姫高原・町営P	18:10	18:30	野尻湖眺望だが見えず。帰着は21:10

山行等概要（幹事のコメント）

- 総合資料記載のグレードはC上としていた。が、行程中特段の危険箇所はないものの行程時間全体の長さから、C上~Dとすべきだったかもしれない。
- 山頂までの登りは計画通りの時間であったが、小泉新道コースの下りは集団では思いの外手間取り、見通しが少し甘かったように思う。
- 当日までの天気予報は二転、三転で一喜一憂させられたが、北信濃の黒姫では幸い雨に降られず終始好天だった。特に西方向の高妻山、乙妻山がくっきり見えて素晴らしかったが、東や南方向の志賀高原の山々や戸隠、飯綱の山々はガスに包まれ残念。
- 登りは古池から始まり、地元竹細工に使う笹藪の樹林帯からブナ林、混生林、ダケカンバ林と変化する樹相、気持ちよい稜線歩き、山頂直下のゴロ岩帯、下りは池や湿原、南アルプスの深い樹林帯を思わせる苔の森林、岩と木の根の急下降、刈り払ったが滑りやすい笹道の横のへつり、ジグザグで滑りやすいスキー場降り等々、変化に富み山歩きの格好の勉強となる山だった。また、古池の周辺



信濃黒姫山々頂 日本二百名山、北信五岳の一つ
西側に日本百名山の高妻山がくっきり



古池越しに黒姫山の全容・実際の山頂は奥の方。湖岸にはサラシナショウマ、トリカブト等の群生

や山頂へつながる稜線では結構秋の花々を楽しめ、稜線では紅葉が少し始まっていてよかった。

- それにしても第一リフトの上の駅に着いたときは、既に薄暮れかかっており、リフト下方のコスモス園のコスモスの黄色とピンクのジュウタンが薄ぼんやりと浮かんでいた。
- 皆さん一生懸命歩いた結果ので、帰着が 9 時過ぎになったのは、全てリーダーのせいで、大変遅い帰宅となったことをお詫びしたいと思います。



山頂西側下の七ツ池と湿原 向って左側上方が黒姫山頂 乾燥化が進行し、低い笹に覆われていた

「信濃黒姫山」に登って

(327) S/T

黒姫山は、北信5岳の一つに入るそうです。9月19日その黒姫山に登る朝となりました。昨日までは雨でしたが、当日新潟は曇りのち雨の予報、長野県の方は曇りのち晴れの予報で希望がもてました。

朝5時に区役所を出発、駅西口で全員を乗せて、米山、信濃町の道の駅で休憩し、登山靴に履き替えてまたバスに乗り、登山口を8時に出発しました。

予報通り晴れてきたので安心しました。古池コースから入山して、渡渉があり樹林帯の中は栃の実がたくさん落ちていました。また、ブナの木も多く、あちらこちらと巨木もありました。ようやく西登山道分岐に着き、一休みして急登になり4時間40分の行程を「ガンバロウ」と励まし合いながら登り、ようやくシナの木の大木につき一息入れました。ナナカマドが色づきはじめ、ゴゼンタチバナも赤い実をつけて、秋らしくなってきたようでした。

私たちの後に若い父親が三才くらいの子どもさんを抱いて登ってきました。誰となく写真を撮ったら、ピースをしてにっこりしていました。その後、子どもさんは眠りについたようでした。若さってすごいなあ・・・と思いました。

眺望所（ガレ場）に近づくにしたがってダケカンバの木が白くみえ、青紫の鮮やかなリンドウや赤くなったナナカマドなど、



古池



親子連れの登山者に会う

紅葉に色づいた山頂がようやく見えてきました。リーダーが頂上の急登の岩山の登り方を注意してくれました。そして、ようやく登り切り頂上に定時に着きました。

「バンザイ」天気も晴れとなり、百名山の高妻山が全景を見せてくれました。懐かしさでいっぱいでした。高妻山は穏やかな山に見えます。しかし、実際は険しい山だったことが思い出されました。

下山で峰の大池の分岐から頂上を見上げると紅葉一色でした。峰の大池までは苔むしたゴロ石通り、周りにオサバグサの葉がたくさんあり、7月頃は一面に白い花が咲くだろうと思いました。ようやく大池に着いたら、池の周りにリンドウが束になって咲いており、池とリンドウがとても美しい景色でした。

また七ツ池の池塘を通りトラバスしながら黒姫乗越につき、一息つきスキー場方面に下りました。笹が多く滑るので注意して下りました。聞くところによると、リーダーが下見の時あまりにも藪で、信濃町に連絡して草刈りをしてもらったのだそうです。ご苦労様でした。

スキー場近くなると土が滑るので、皆注意しながら下ったため、全体に時間が遅れてリフトを使わず自力でスキー場を下りました。リフトを使ったらコスモスの花のピンク、黄色等々の色とりどりの花が見られたらと一寸残念でした。いずれにしろ、全員無事に完登できたことが何よりもうれしく思い、黒姫山に登られて満足しました。ありがとうございました。



青紫の鮮やかなリンドウ



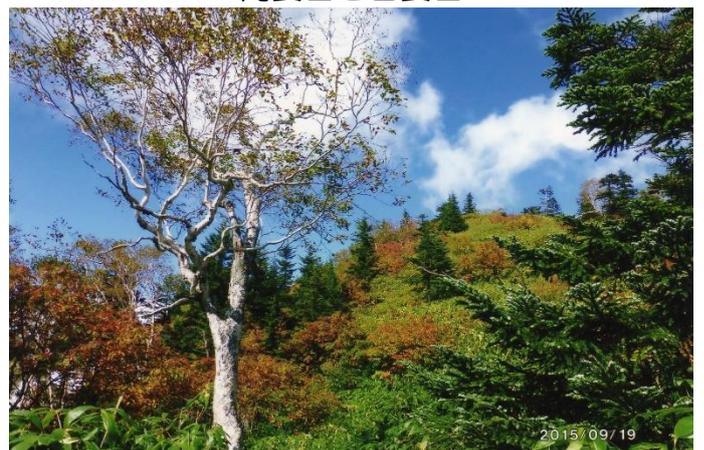
ナナカマドの実



高妻山と乙妻山



オサバグサ



峰の池分岐からの黒姫山